

高野森夫さん・博文さん 飼料用米多収コンテストで全国表彰

高野森夫さん（関沢）と息子の博文さんが、農林水産省などが主催する『令和5年度飼料用米多収日本一コンテスト』の「地域の平均単収から増収の部」で全国農業協同組合連合会中央会長賞を受賞。同省（東京都千代田区）で開催された表彰式で賞状と盾を授与されました。

東日本大震災では消防職員として任務に追われた森夫さん。3世代家族は親族などを頼ってバラバラに避難しました。森夫さんは定年退職後に避難先の福島市で食用米の栽培を始め、現

地で村の小学生の田植え体験なども受け入れました。転機は平成30年。地元のJAの勧めで飼料用米「ふくひびき」の栽培を村内でスタート。年々面積を拡大し、令和5年には10年契約で農地中間管理機構からも農地を借り受け、当初の約15倍、16・1haに作付けしました。

田には毎年稲わらをすき込み鉄コーティングされた種もみを丁寧に直播。播種時の施肥、背負い動力散布器による追肥も行い、10aあたり741kgの多

収を実現。ドローンを所有し除草剤散布を行うなど省力化にも取り組んでいます。

農繁期、埼玉県で暮らす博文さん夫婦は週末ごとに村に通い農作業に励みます。博文さんの子ども達もことあるごとに村を訪れていて、中でも村が大好きな次女の双葉さんは、この地で営農する夢を抱き、両親の母校である東京農業大学に進学しているそうです。



受賞報告に来庁した森夫さん。ままでの原動力は「よりよい暮らしがしたいと願うこと」だそう。賞状と盾に親子2代の名前が記されています。



森夫さんと博文さん・友紀さん夫婦。「いずれは戻ってやるつもりです」「体は疲れても、この景色と空気ですっきりしています」。

〈編集後記〉

広報いたてを読んでくださる皆様、はじめまして。令和6年度より広報担当となりました、巻野と申します。今年度が始まってから早1か月が経ち、慣れないカメラ操作と取材に苦闘しておりますが、村民の皆様を直接見て、皆様にお伝えするとういう大切な仕事にやりがいを感じております。これからも、村民の皆様を主役に、飯館村

の今をお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。（巻野）
桜も椿も水仙も菜の花もとてもきれいに咲きました。春の絵筆の見事な筆さばきにつとります。鳥のさえずりも心地よくこのまま外にいたいなあと何度思ったことか。花便りを聞きつけたたくさんの方が村を訪れてくださって人を惹きつけてやまない花の力にも心打たれた春でした。（星）

村からの
お知らせなどが
すぐ分かる





飯館村公式
アカウント

**登録数が500件を
超えました!!**



みんなの登録
待ってるよ!

この春は桜の開花情報も
発信しました。

